H29.5.15

福島県避難地域復興局・生活環境部

避難12市町村鳥獣被害対策(緊急戦略取組体制)

「将来像提言」

I 目指すべき30~40年後の地域の姿

「イノベーション・コースト構想」や「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現

地域住民が安心して住み、働き、健康で心豊かに生活できる「暮らしやすい町」の実現等

Ⅱ 2020年に向けた具体的な取組(分野)と主要項目

①産業・生業の再生・創出、②健康・医療・介護、③ひとづくり、④観光、風評・風化対策等 ⑤広域インフラ・まちづくり・広域連携

○その他広域連携の検討

帰還に同け特に住宅周りの を必要を加速する必要をい

避難12市町村鳥獸被害対策会議

【構成】

- 〇避難12市町村、双葉地方広域市町村圏組合、専門家チーム、国(復興庁、福島復興局、内閣府、 経済産業省、環境省、農林水産省)、県(生活環境部、農林水産部、避難地域復興局他)
- 〇事務局:県(生活環境部、避難地域復興局)

【業務】

○情報共有、施策立案、財源、具体的な取組、モデル実証事業検討等

避難12市町村鳥獣被害対策専門家チーム

【構成】

溝口福島県野生動物調査専門官、羽澄福島県鳥獣対策 専門官、小寺宇都宮大准教授、平田長崎県農林部係長 【業務】

〇人身事故防止のための危機管理·避難区域イノシ シ対策マニュアル等作成

平成30年度以降の取組(案)

〇戦略に基づく対策の実施とPDCA

平成29年度の取組(案)

- 〇モデル地域における実証事業実施及びそのデータ解析、広域緊急戦略·市町村別計画・人材育成等への反映
- ○実施可能な対策から随時実施・現地指導
- ・捕獲(個体数調整)、環境管理(草刈、ヤブ払い等)、行動制限(柵設置)等
- 〇広域緊急戦略(避難12市町村におけるイノシシ排除のための緊急戦略)作成
- ○技術マニュアル作成
- •(例)人身事故防止、集落診断技術、環境整備、柵設置、捕獲、追払

〇人材育成

- 1stステップ(5~ 7月) イノシシ生態・対策(基礎理論)
- ・2ndステップ(9~11月) 対策先進地のケーススタディ
- 3rdステップ(11~1月) 市町村個別計画作り(演習)

